

世界を知る

申込開始日

9.1日~

全 2 回

受講料 無料

対象 どなたでも

本講座は、グローバル人材の育成と地域
経済の発展を目指す2大学の特色を生かし、
日本と諸外国の文化や歴史、言語、経済の比較
などを行うことで、「世界を知る」機会として開催
するものです。

広島市立大学と県立広島大学から各2名の講師が
それぞれの専門知識を生かし、新たな視点を
提供する連携講座を展開します。

定員 会場

先着

100名

対面40名、
オンライン60名

広島市立大学
サテライトキャンパス

〒730-0051
広島市中区大手町4丁目1-1
大手町平和ビル9階

またはオンライン

第2回目
パレスチナ問題と「グローバルサウス」

10.9 水

18:30

20:00

第1回目
台湾は東アジアのウクライナなのか？

10.2 水

18:30

20:00

申込方法

広島市立大学ホームページ掲載の申込フォームからお申し込みください。
<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/service/content0014/>



ホームページからの
申し込みが難しい場合は ...
FAX 082-830-1555

以下をご記入のうえ、「広島市立大学 地域共創センター宛」へ FAX でお申し込みください。
(1) 郵便番号 (2) 住所 (3) 氏名(ふりがな)
(4) 電話番号 (5) 受講方法(対面またはオンライン) (6) E-mail

申込締切日 9月23日 月

お問い合わせ

広島市立大学地域共創センター TEL 082-830-1542

講座内容

台湾は東アジアのウクライナなのか？

第1回目

県立広島大学地域基盤研究機構 上水流 久彦 教授

10.2^水 18:30-20:00

台湾統一を核心的課題とする中国政府と、台湾が中国の勢力下にはいることはアメリカの国際社会での地位を危うくすると考えるアメリカとの間で、台湾は地政学的に非常に重要な位置を占めるようになっている。また、台湾は中国ではなく台湾だという意識を持つ人が大多数を占める台湾の存在自体、中国政府にとって許容できないものである。このような状況下、台湾海峡で「有事」があり得るのではないかという懸念が絶えない。今回の講座では、有事が起こる可能性について検討したうえで台湾海峡の安定に日本として寄与することは何か、考えていきたい。

パレスチナ問題と「グローバルサウス」

第2回目

広島市立大学国際学部 田浪 亜央江 准教授

10.9^水 18:30-20:00

2023年10月以降、ガザをめぐる状況が深刻化するなかで、世界のそれぞれの国々がイスラエルやパレスチナとどのような関係を取り結び、とりわけガザの虐殺に対してどのようなスタンスを示しているのかが注目され、問われている。とりわけかつてアパルトヘイト政策を実施していた南アフリカ共和国による国際司法裁判所へのイスラエル提訴は大きなインパクトを与え、グローバルサウスを中心に原告支持の立場でこの裁判に参加する国々が増えている。こうした動きを各国の外交政策として見るのではなく、21世紀に入って再活性化した植民地主義の歴史の捉え返しの文脈のなかで考えていきたい。

広島市立大学 サテライトキャンパス

〒730-0051 広島市中区大手町4丁目1-1
大手町平和ビル9階

お問い合わせ

広島市立大学 地域共創センター

TEL 082-830-1542 FAX 082-830-1555
E-mail chi-ren@m.hiroshima-cu.ac.jp

